慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	はじめに
Sub Title	
Author	神成, 文彦(Kannari, Fumihiko)
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」事務局
Publication year	2019
Jtitle	超成熟社会発展のための政策提言書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005001-00002019--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

はじめに

慶應義塾は、文部科学省支援の下に 2017 年度まで実施してきました博士課程教育リーディングプログラム（オールラウンド型）「超成熟社会発展のサイエンス」を大学独自の資金で 2019 年度も継続して参りました。リーディングプログラムにおける人財育成の目的とするところは、

①確固たる価値観に基づき、他者と協働しながら、勇気を持ってグローバルに行動する力
②自ら課題を発見し、仮説を構築し、持てる知識を駆使し独創的に課題に挑む力
③高い専門性や国際性はもとより幅広い知識をもとに物事を俯瞰し本質を見抜く力

の養成にあります。慶應義塾大学に於けるオールラウンド型プログラム「超成熟社会発展のサイエンス」は、博士号取得に加え、文系と理系での 2 つの修士課程を修了することを課し、プログラム独自の多彩な教育メニューでこれらの目的を達成させる教育プログラムです。とくに、今までにない教育の取り組みとして、日本を代表する企業等から派遣されたメンターの下で、社会や産業界の視点で問題を発掘する力を養成し、その解決方法を考えることで独創力と企画力を磨いて来ました。本プログラムの出口において、学生の専門分野での博士学位取得に加えて、これまでの社会課題解決のための取り組みの成果を社会に発信するのが「政策提言」です。

本プログラムの学生は、取り組んだ課題の現実を調査するために実際に政府機関等にインタビューをしたり、フィールドワークに出かけたり、時には課題の根深さにはじめて気づいて壁にぶつかり方向変換を余儀されることもありました。過去、5 年間いくつかのテーマに取り組む一方で、政策提言の要件、構築の手法等の基礎的知識を学習し、学生間で互いのテーマをも具体的に検討することで、政策提言または長期戦略提言作成のためのスキル獲得も行ってきました。そして、シンクタンク等の外部の知識者のアドバイスも受けながら政策提言の形を作り上げてきました。

今回、政策提言公聴会として行った 7 件の提言は、5 年間の教育プログラムの出口にあたり、各学生が取り組んできたいくつかのテーマの中から是非社会発信したいと考えたものです。各学生の博士論文テーマとは全く異なるテーマで構築した提言の中に、本教育プログラムの人財育成に対する新しい考え方と成果を垣間見ていただければ幸いです。

慶應義塾大学博士課程教育リーディングプログラム（オールラウンド型）
「超成熟社会発展のサイエンス」プログラムコーディネーター
理工学部 教授　**神成 文彦**